



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第 334 号

平成 30 年 8 月 30 日（木）

発行 税理士法人 KJ グループ

〒536-0006 大阪府野江 4 丁目 1 番 6 号

TEL : (06) 6930-6388

FAX : (06) 6930-6389

業務を自動化する「RPA」の需要が急増！ 一方で専門スキルを持つ人材不足が深刻化？

AIと並び、現在注目を集めているのが業務の自動化を実現するRPAだ。IT調査・コンサルティングのITRによれば、2015年に2億円程度だったRPAの市場規模はこの3年で急拡大。2018年は44億円、2021年には80億円以上まで伸びると予測している。しかし、いくら自動化できるといっても、専門知識を持ち適切な操作スキルを有し、開発工程から日々の運用のサポート、メンテナンスまで対応する人材が必要だ。他方で、労働力人口自体が減少していることに加え、急速なニーズの拡大で対応できる人材が不足しているのが現状。企業の中には、RPAを導入したものの活用できていない事例すら存在する。

この状況に目をつけたのが人材サービス大手のパーソルテンプスタッフだ。RPA専門人材を育成・派遣する「RPAアソシエイツ」を開始。約1カ月間（90時間）の集中研修を実施し、修了スタッフをRPA導入企業へ派遣するという。

注目は、パーソルテンプスタッフの先行的な取り組みに加え、業務の自動化が逆に雇用を生むという構図だ。先進的なソリューションを導入すれば、それに対応する人材が必要となる——。ある意味で当然の市場原理が働くことを改めて気づかせてくれる取り組みだ。一歩進めると、こうした専門スキルを自前で醸成することが、人材コスト抑制につながる可能性がある。とりわけ資源の乏しい中小企業は戦略的な人材育成策として検討をはじめめる必要があるのではないだろうか。